

# にっぽんウォーキング旅

栃木県栃木市

## 春風に泳ぐ鯉のぼりと 小江戸の街を歩く

栃木市は、家康の没後、朝廷からの使い（例幣使）が通った宿場町として、さらには江戸との舟運で栄えた問屋町として「北関東の商都」と呼ばれた街。今は「蔵の街」としても知られ、起伏もなく、多くの観光名所があるため、景観を楽しみながらのウォーキングができる。

栃木駅北口を出て、左前方の大通りを300mほど進むと「巴波川」沿いに整備された「蔵の街遊歩道」の案内板が見えてくる。そこが蔵の街散策の出発地点だ。

小江戸と呼ばれる歴史ある景観の中を流れる巴波川は、江戸時代から昭和初期にかけて舟運により「北関東の商都」として栃木市の発展に大きな役割を果たした、市のシンボルでもある。市民との関わりも深く、毎年3月中旬から5月中旬にかけては、巴波川に約1000匹の鯉のぼりが約600mにわたってつるされる。色とりどりの鯉のぼりが風に乘って泳ぐ姿は、春の風物詩となっている。

土館」と「岡田記念館」もその一つだ。横山家は、麻問屋として富を成し、個人で銀行を営むほどの成功を収めていたという。岡田家は、江戸時代に未開地を開墾して村民に生活の基礎づくりを指導し、安定した村落づくりに貢献したといわれている。

県道栃木粕尾線まで出たら折り返して、栃木市のメインストリートである蔵の街大通りを歩いて行く。すると、風情ある街並みの中でひととき目を引くモダンな建物「とちぎ山車会館」が見えてくる。縦長の蔵のような入り口は、大きな山車の出し入れができるようにするためだそう。



### 2 横山郷土館

明治時代の豪商である横山家の貴重な史料などを展示した資料館。横山家は店舗の右半分で麻問屋、左半分で銀行を営んでおり、その建物には、当時をしのばせる帳場などが再現されている。



DATA 時間：9:00～17:00 ※入館は30分前まで／休：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始／電話：0282-22-0159

横山郷土館離れは、外観は洋風、内部は和風が基調の和洋折衷の建築。

### 1 巴波川

栃木県南部を流れ、市の街中を走る川。元和3（1617）年に、徳川家康の霊柩を久能山から日光山へ改葬した際、御用荷物などを栃木河岸に陸揚げしたことから舟運が発達し、関東と南東北の流通を結ぶ結節点として、栃木の間屋業、製造業の発展を支えた。



蔵の街遊覧船では、船頭が巴波川沿いを30分ほど案内してくれる。

### 4 とちぎ山車会館

2年に1度開催される「とちぎ秋まつり」の興奮がいつでも楽しめる施設。デジタル技術を駆使した演出と実物の山車3台で祭りを再現している。

DATA 時間：9:00～17:00 ※入館は30分前まで／休：1・2・3・7・8・12月の月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始、展示替えによる臨時休館あり／電話：0282-25-3100



敷地内に保存されている栃木最古の理髪店「市村理髪館」。



### 3 岡田記念館

550年以上の歴史を持つ旧家である岡田家の屋敷を公開した施設。約4,000坪にも及ぶ広大な敷地では、江戸時代から近代にかけての建築や庭園、岡田家伝来の宝物を鑑賞することができる。

DATA 時間：9:00～17:00 ※入館は30分前まで／休：月～木曜（祝日は開館）、年末年始／電話：0282-22-0001



walking map  
約5.2km  
78分



栃木市マスコットキャラクター「とち介」のグッズも充実している。

### 5 栃木市アンテナショップ まちの駅コエド市場

栃木市の魅力を発信する「まちの駅」。店内で毎朝焼き上げるパンや、地元の農産物や農産加工品、小江戸ブランド商品などを販売している。店内にはイトインスペースやラジオブースもある。

DATA 時間：9:00～18:00／休：火曜、年末年始／電話：0282-25-7411

※営業時間などデータは変更される場合があります。 ※新型コロナウイルス感染症の状況次第では、営業時間の短縮や変更、臨時休業、イベント中止などの場合があります。詳細は各施設にお問い合わせください。